山中比叡平学区社会福祉協議会 学区社協だより No.203

○地域によりいっそうの優しさを○

●「助け合い体験ゲーム」が地域力を育てるか――前月号で会づくりを呼び掛けた「頼り上手頼られ上手の会《ホントの自立》」の最初の一歩を踏み出したいと思います。「頼り上手」が時に「頼られ上手」に、「頼られ上手」が時に「頼り上手」に、こうしてこの「ほどのよい孤立」「ほどのよい小ささ」の山中比叡平が、心地よい優しいきずなで結ばれていく。この「支え合いの自助・自立」を地域のみんなで実現していきたい、その第一歩の試みが以下の提案です。

「助け合い体験ゲーム」――「ふれあい」「支えあい」で「生きあう」社会を

日時／12月25日（土）10時～13時（軽食をともに）

場所／自治会館やまびこ

参加自由／無料（中学生以上）面白そうだと思ったら、どうかご参加を。お待ちしてます。

○田んぼ仕舞いをしました○

●稲刈りから天日干し、脱穀へ――田んぼ作業は全体の後半部分も終わりました。あとは来年春の「餅つきの祭り」（新型コロナの状況を見ながら）とその直前の籾摺りと精米です（餅つき大会は学区社協が主に担当しますが、主催はまちづくり協議会です）。小さな子たちや保護者の参加も含めて長く楽しい田んぼ作業をありがとうございました。山中町の皆様にも見守りやお心遣い、いろいろとご協力をありがとうございました。山中町と比叡平とのいい交流もできました。

おかげさまで収量もモチ米30キロ（銘柄は「羽二重」ブランド名は「山中もち ぴかり」）ほどになりそうですから、一臼2升として10臼の餅は搗けそうです。来春の餅つき大会が、どうかコロナ流行前以上の賑わいを取り戻すことが来ますように…。

なお、12月7日のしめ縄づくり教室（コミセン主催）はこの稲藁を使って行なわれます。

○「あんなこともできる、こんなこともできる」○

●先月の広報でご案内した学区社協中部ブロック（6学区）主催による11月1日の「地域福祉講座」を盛会のうちに行なうことができました。全員参加型のプログラムから始まり、「あそびの工房 もくもく屋 田川雅規」の名のとおりの楽しく学べる会になりました。参加者27名のうちアンケートの回収が25名、うち20名が「とてもよかった」、4名が「まあまあよかった」という結果でした（因みに「期待ほどではなかった」がお一人）。本講座を主催者代表として企画したものとしては大変嬉しいことでした。今度また、このように楽しく学べるいい機会がありましたらご案内いたしますので、どうか楽しみにお待ちください。

○赤い羽根大口募金○

●10月から始まった募金活動は12月末まで――ということで、引き続き大口募金（一口1,000円）をよろしくお願いいたします。「赤い羽根ミニバザー」も、11月のコミセンマーケットをもって本年の売り上げは総額9,110円となりました。金曜カフェでの販売ができなかった分少なかったのですが、それでも大口募金9口分以上です。物品提供などたくさんの方のご協力、ありがとうございました。

○お知らせ○

●今月も「お食事券」利用できます――新型コロナウイルスの影響のもとで、ひとり親家庭からの相談が急増していると聞きますが、困難の中にあるないにかかわらず、ご家族での楽しい食事のひと時をと、今月もささやかですがひとり親家庭にご家族分（社会人を除く）の食事券を提供いたします（お一人につき500円券2枚）。今月から新たに、「OTOCafe」と「つむぐ」（いずれも午前中のみの営業）でも利用いただけるようお願いするつもりです。

NPO法人 陽だまりの会

ニットカフェ

ニットカフェは今年からサークルに形を変えました。メンバーがお互いにわかるところを教え合い、楽しくおしゃべりしながら作品制作に励んでいます。

「講師にもオブザーバーとして参加してもらっていますので、わからないときは先生に教わります。

編み物サークルといえば、女性の集まりと思われるかもしれませんが、男性も参加されていて、次々と作品が出来上がっています。

参加費は、1回2時間／200円で月に2回です。

男性会員の作品です。

大津交通安全協会 山中比叡平支部

交通安全協会が管理している、市民センターの交差点で毎日24時間活躍している赤色回転灯。一年間の汚れを水洗いでお掃除をして、防腐塗料を塗ってお化粧直しをしました。回り始めて何年たつのかな…。また1年間、学区民の皆さんの交通安全のために、回り続けてもらいたいと思います。

「今日も一日思いやり運転」で、交通事故ゼロの町で行きましょう。ご安全に。

比叡平小学校

学校長　青谷 恭浩

修学旅行の引率で、奈良に行ってきました。ここでは、心に残った子どもたちの姿を二つ紹介します。

①東大寺見学の前に、修学旅行実行委員会の子が、寺の歴史や建造物について皆に説明しました。大仏の規模や、大伽藍は兵火により焼失したが再建されたこと等、話してくれました。子どもたちは一学期に「大仏建立」「聖武天皇」「行基」等について学んではいますが、なにぶん時間が空いています。この説明があったことで、既習事項と実物とがリンクしやすくなったものと思います。校外学習をより有意義なものにするためには、目的地での活動内容を事前に調べ知っておくことが肝要だと再認識しました。

②一頭のシカが、観光客のズボンのポケットから紙（パンフレット）を奪いました。それに気づいた子が「シカが紙を食べてる！」と言い、六年生何人かが取り返そうと、シカと引っ張り合いを始めました。最後は、子どもたちが紙の回収に成功し、周りから「おお～っ！」と感嘆の声があがりました。紙はグシャグシャになってしまいましたが、観光客は「ありがとうございました。それ（紙）はこちらでいただきます」と、子どもたちに声をかけてくださいました。シカと観光客を助けようとした子どもたちの思いやりと行動力が光りました。

ルールとマナーを守り、仲間たちと楽しく過ごす六年生たちでした。

❷

❶

【共催】民生委員児童委員協議会 コミュニティセンター

「みんなで遊ぼう」

毎週月曜日10時から11時半まで

晴れた日の一コマ。子どもたちは外の遊びが大好き。花壇にはきれいなお花が、そして秋の園庭にはドングリが落ちています。落ち葉をひろってニコニコ、こんなのひろったよとばかりに黄色く色づいたイチョウの葉を見せてくれる。のびのび元気に時間いっぱい遊びます。

「絵本だよ、みんなはいっておいで」お話しも大好きです。楽しい時間が過ぎていきます。来週も待っているよ！

山中比叡平学区 民生委員児童委員協議会 青少年育成学区民会議

民生委員児童委員協議会

民児協は地区の社協と一緒に共同募金ボランティア活動に参加しています。今年はコロナの影響で一月遅れ11月2日（火）に実施しました。今年も12月1日（水）より、「歳末助け合い運動」が展開されます。この運動は高齢者、障がい者など、福祉サービスを必要とするする人が、安心して新しい年が迎えられるよう、地域を挙げての募金活動です。集められた募金は地区内の福祉活動や、福祉施設や対象課程への見舞金として活用されます。

やまのこひろば

～『やまのこひろば』に来る時のお願い～

・参加する前に体温を計り、37.5度以上の熱がある時や体調が悪い時は、参加を控えてください。
・保護者の方はマスクをご着用ください。
・入り口で必ず手指の消毒をしてください。
・受付時に健康状態記入表への体温、体調の記入をお願いします。
※県下に『緊急事態宣言』が発令された場合は、事業を中止します。

地域の中村さんに教えていただいて、芋掘りをしました。（5歳児　にじ組）

『どんぐりころころ』の未就園の親子と2歳児（きりん組）いっしょに芋掘りをしました。

『やまのこひろば』または『コミュニティセンター』にお問い合わせください

☆<園庭開放>　月～金曜日9：30～11：30

対象は、未就園の親子、降園後の在園児親子です。

（降園後の在園児のみ　14:00～17:00）

やまのこひろばの予定は行事カレンダーをご覧下さい。

こども図書館だより

新しい本を見にきてね！

開館日 毎週日曜日と第4土曜日

新しい本がいっぱい入りました。その一部を紹介します。

「あのねこは」「まどれーぬといぬ」「マドレーヌとクリスマス」「とんとんとめてくださいな」「ハリーのセーター」「だっこして」「ふんふん なんだかいいにおい」「街どろぼう」「ほねほねザウルス24」「秋」「くもとりやまのイノシシのびょういんの7つのおはなし」「金の角 ロニーの物語」「ショーティとねこ」…その他、クリスマスの本をそろえて、皆さんをお待ちしています。